

令和3年度（2021年度） 学校関係者評価報告書

大阪市立 住吉中学校 校協議会

1 総括についての評価

- ・昨年から続くコロナ禍の影響によって様々な学校行事や学年行事の計画変更等が行われているにも関わらず、落ち着いた学習環境を維持されている。また、学力向上の取り組みがしっかりと進められており、柔軟に学校の組織的な運用がなされている。「学校生活は楽しい」と答えた生徒が88%という高い数値結果からも、限られた時間の中でも目的意識を持って、協力しあって得た生徒たちの達成感（体育大会、文化祭）が高いものであったと感じとられる。
- ・不登校については、学校だけの問題ではなく「家庭環境による問題」としても捉えながら外部機関との連携を更に密にしながら、改善の糸口を見つける教育活動を展開していただきたい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・生徒アンケートの結果によると「学校生活が楽しい」と答える生徒が前年度より増加しており、学習体験をする活動が減少する中においても学校行事等が実施されることで生徒の自己肯定感の向上が高まっていると思います。
- ・コロナ禍の影響を受けながらも、教職員の教育活動における創意工夫がなされており、子どもたちが安心して積極的に取り組む成果が表れてきていると思います。

年度目標：【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・コロナ禍での更なる一年間が経過しましたが、先生方と生徒の程よい距離間の中で、子どもたちが安心して授業を受けている様子がわかり、行事等が短縮されたにも関わらず先生方が様々な対応をされながら、学びの継続を実現している賜物であると拝察されます。今後も、引き続きご尽力賜りますようお願いします。
- ・新しい生活様式等による変化を大きく受けたことで、生徒の著しい体力の低下が懸念されます。体験を伴う学びの場の確保は難しいことではありますが、引き続き教職員の皆さんと一緒に一丸となって、子どもたちが安心して過ごせる学校づくりをお願いします。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・今年度と同様に教職員が一丸となって教育活動の充実を継続して進められることを期待しています。
- ・生徒が有意義に学校生活を過ごしてくれたための教育活動の創意工夫がされていて、継続して子どもたちが落ち着いて学習に取り組むことができる学習環境の構築と子どもたちの居場所づくりに取り組んでいただきたい。
- ・不登校や学力の遅れに不安を抱いている生徒への丁寧な指導を継続して進めていただきたい。
- ・学校協議会の場が、住吉中学校の教育活動の活発な意見交換の場として続いていってほしいと願っています。